

仕 様 書

I. 調達物品の名称

透析用水作製装置

※想定は、日本ウォーターシステム社製逆浸透精製水製造システム MXR751-H とするが、同等もしくはそれ以上の機能を有するものを認める。

II. 構成内訳

透析用水作製装置 1 式

III. 使用目的

透析治療に用いられ、透析液の希釈、調整を行う機器に清潔で安定した RO 水を供給する装置のことである。

IV. 基本的要件

1. 納品は令和 4 年 2 月末日までに完了させること。
2. 本装置の支払いは令和 4 年 3 月末日に一括支払いとすること。
3. 搬入、据付、調整を含み、即使用可能な状態とすること。
4. 搬送料、組立設置料は本体費用に含めること。
5. 本装置の使用者及び関係者に対して担当者より操作説明等についての説明・教育を行うこと。
6. 納品引き渡しは全ての機器が正常に作動し、即使用出来ることを確認し、取扱い説明書など必要と思われる書類を提出、当院スタッフへの取扱い説明を行った上で納品完了とすること。
7. 入札機種のうち医療器具に関しては、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の承認を得た物品であること。
8. アフター体制が万全であり緊急連絡先がわかるようにしておくこと。
9. 修理・問い合わせが発生した際は速やかに対応できること。
10. メーカーが推奨する日常点検簿がある場合は添付すること。
11. 本仕様に関して疑義が生じた場合には双方協議の上解決すること。
12. 本件買入れの際に知り得た情報については、第三者に漏洩してはならない。

V. 性能・機器等に関する仕様

- 1) 透析用水作製装置は、以下の要件を満たすこと。
 1. 外形寸法は幅 1100mm×奥行 1020mm×高さ 1800mm 以内であること。
 2. 原水タンクをキャビネットに内蔵し原水加温できること。
 3. プレフィルタがキャビネット内に装備されていること。

4. 硬水軟化装置がキャビネット内に装備されていること。
5. カードリッジ式繊維状カーボンフィルタがキャビネット内に装備されていること。
6. 夜間運転から通常運転移行時、前処理部分に滞留した原水をフラッシングできること。
7. 8 インチ RO 膜を 1 本搭載し、1 時間当りの透過水量は加温時（25℃）1100L 以上であること。
8. 装置内 RO ポンプ、送水ポンプがインバータを搭載していること。
9. RO 水タンクレベルに応じて RO 処理水量をコントロールするシステムを搭載していること
10. 初期抜水監視機能を搭載し、設定水質に立ち上がった時点で造水運転への円滑な切替が可能であること。
11. 初期抜水時に透過した RO 処理水は排水せず、原水タンクへ戻す機能を搭載していること。
12. RO 水タンク以降の自動薬液消毒ができること。
13. 軟水・RO の 2 種のバイパス運転を行うことができるシステムを内蔵していること。
14. 各種バイパスラインのフラッシング機能を搭載していること。
15. RO 水タンクは自動ドレイン機能を搭載し、タンク下部から抜水できる構造になっていること。
16. 装置外 RO 水送水ライン上に UF 膜を設置し、清浄度を高めた RO 水を供給できること。
17. モニタにはタッチパネル方式かつカラーユニバーサルデザイン採用のカラー液晶画面が装備され、操作性・視認性に優れていること。
18. 運転時の温度、水質、水量、圧力がカラー液晶画面のフローシート画面及びグラフ確認できること。
19. 警報発生時履歴及び運転データの保存が可能で、カラー液晶画面で確認できること。
20. カーボンフィルタ、RO モジュール等の差圧設定ができ、設定値以上になった場合の自動報知システムをもつこと。
21. 漏水検知機能は 4 パターンから選択が可能で、検知帯・ポイントセンサの 2 重監視が可能であること。
22. 多人数用透析液供給装置との装置間連携機能が搭載されていること。
23. 警報発生時に病院担当者様へメールで通達する機能が搭載されていること。